

2022 年度(令和 4 年)第一回教育課程編成委員会 議事録

日 時 2022 年 9 月 6 日(火)14:00～

場 所 旭美容専門学校 3 号館

出席委員	株式会社ふらいむ シニアマネージャー	伊藤元委員
	有限会社ラボ・ビューティ取締役	佐々木昌美委員
	株式会社ブランシェ取締役	清水克真委員
	Nail&cosmeticTOBIOKA オーナーネイリスト	前田佳苗委員
	旭美容専門学校 校長	長谷川雅敏
	旭美容専門学校 教務部長・美容科学科長	河村久美(司会)
	旭美容専門学校 トータルエステティック科長	豊田そのみ

オブザーバー 株式会社ふらいむグループ代表 岩崎哲司様

書 記 旭美容専門学校 事務 駒倉美佳

議事次第

1. 開会

教務部長河村から開会の挨拶がなされた。司会者となり配布資料の確認をした。

2. 学校長挨拶

校長長谷川雅敏より挨拶がなされた。

教育課程編成委員会の進め方

教務部長河村が議長(委員長)を務める旨説明。

3. 議事

一、美容科、トータルエステティック科の教育課程について

1) 前回教育編成委員会以降の取り組みについて

①トータルエステティック科教育課程についてトータルエステティック科 科長豊田そのみより、前回委員会より、頂いたご意見を参考に授業に取り入れた点について説明。

・SNS 発信の必要性についてご意見をいただいたので学校としても授業に取り入れるため、iPad 導入について検討し、まずは教員が使いこなせるように、また、授業にどのように活用していけるかを勉強中。学校の環境整備も進めている。SNS の使用方法、アップするうえでの注意点などについて講習会を開催した。

・販売(営業)苦手意識については、「販売する」「売り上げを達成する」だけでなく、その後からお客様

との付き合いが始まること。そのためにお客様に自分をプロデュースすることが大切なので、美容業界で働く人の人物像をイメージさせることからはじめ、「なりたい自分」「目指す自分」について明確に意識できるように授業を行った。専門学校に入学して「自分の夢」「目標を決めること」からスタートし、学校に通い、同じ目標を持った仲間と楽しく学ぶことで自信が付き、理想のエステティシャン像を持ち就職に繋げていきたい。と目標を語った。

教育編成委員会、有限会社ラボ・ビューティ取締役 佐々木昌美委員の協力のもと、3 日間の東京研修を実施し「なりたい自分」と「今の自分」を比較し、後期以降スチューデントサロンに活かしていけるようする。

またオリジナルコスメ制作し販売の練習をしていく。

・実践授業

ネイルケアマシン 2 台購入をし、スチューデントサロンでの活用を目指し授業に導入すると説明した。

②美容科教育課程について、美容科 科長河村久美より説明。

・福祉美容の授業がスタート。ユマニテク短期大学田村禎章准教授より訪問美容師の意義や基礎知識を学んでいる。実習では相モデルでベッドや車椅子の介助を体験し、直接、訪問美容師の方からカットに必要な技術を学んでいる。修了すると生活支援従事者研修修了者、訪問美容認定研修修了者の資格が授与されることを説明。高齢者の疑似体験も体験した。

・SNS を活用するうえで必要となるフォトワークの授業を一般教養科目としてがスタート。プロカメラマン・クリエイターを講師として招き、人物撮影のテクニック、理論実習を交え実践的に学んでいる。第一回目の特別講師として浅田政志さんを迎えた。

・一般教養科目 ファッションデザインの授業がスタートした。

・「三重県信用保証協会」と連携し創業、起業、金融、企業経営に係る啓発教育、人材の育成に産業人材の業務提携・協力していただける体制が整ったと説明した。

2) 今後の取り組みについてのご意見、質疑・応答

議長、河村より説明させていただいた取り組みについて、率直な感想、意見等また、今後の教育課程について何か強化していくべき点や現場からのご意見をいただければと、述べ委員の皆様より感想やご意見をいただいた。

(ご意見・感想)

・美容科の福祉の授業について高齢化社会の中で美容の業界としてどのように対応していくのかを学ぶ事は有意義である。高齢の方の疑似体験をされているということはとても素晴らしいことだと思う。

わが社ではシニア検定を取り入れている。骨折やあざの出来やすさなど、高齢の方に対してエステや美容の施術する際の力の入れ具合の注意点や対応について学んでいる。

・SNS の授業など、この委員会で意見として出したものをすぐに授業に取り入れていただける点は素晴らしいと思う。

・東京研修にて「エステティシャンとは？」という講習を受講していただいてから、最新のエステの現場を体験し、未来の自分像を描いていただく。新人のスタッフも同じだが、学生のうちから未来の自分像を描いて学ぶ体験は素晴らしいと思います。またユーチューバーとして活躍しているオーナーさんから発信につい

でも学べると思う。

・東京研修について、エステ体験をする際にサロン選びも重要であること。最近、脱毛サロン倒産のニュースが多いが、サロンとして美を追求しているサロンなのか、実業家としてお金を儲けるだけが目的なのかを見極めサロンを選ぶ必要がある。学生には美を提供するサロンで活躍してもらいたい。理想像を描いていただきたい。

・三重県信用保証協会と連携し、中小企業診断士からの授業を開催。卒業生が店を開店する際にお金を借りに行く。学生のころからお金について学ぶ。

・個人を大切に。自分を大切に。自分のペースで働きたいという人が増えている。

(検討事項)

・独立をして個人で営業すると禁忌をおかしてしまい、事故を起こしてしまうことが多い。

そのような事例がある事を学んでおくことにより、将来独立した際に事故が減るのではないかな。

業界としての信用に繋がるのではないかな。禁忌事項がなぜダメなのかということをしっかり理解できるように授業をしたらどうか。

・近年サロンに入社したスタッフは学校でマツエクを学んでいる為、しっかりした知識をもち安心できる。(学校で、学ぶ事の大切さ)

・エステティシャンとネイリストの兼任は難しい為、エステ科の後期からの選択授業ではネイルとエステティックを分けるほうがいい。道具を綺麗に扱うこと、外見だけでなく、内面も、体も美しくある事は美容業として必要なスキルであり、エステもネイルもできると素晴らしいが、現実的に爪を伸ばしたままエステティックの授業をするのは難しい。「アーティスティックな「ネイル」と「お肌を少しずつ整えていく」「エステ」どちらにやりがいを感じるか。好きなことを徹底して学ばせること、少しでも目指すもののスキルを伸ばすことが大切ではないかな。

・限られた時間の中で好きなことを学ばせ、伸ばす教育を目指してはいいかがか。

・経営について学ぶ機会 会社を運営していくのにかかる費用や売り上げをあげることが会社を運営していくうえで必要なことであること、理解を学んでもいいかなと思う。

二、その他

1) 次回会議の開催日について

別紙日程調整表に可能日を記入していただき提出してほしいと述べた。

日時:2022年3月開催予定 場所:旭美容専門学校 3号館

3) 閉会挨拶

貴重なご意見をありがとうございました。現場の貴重な意見をいただきありがとうございます。

本日頂いたご意見を参考に、今後も教育活動をより充実したものとするようにしていきたいと思っております。と校長より閉会の挨拶がなされた。

以上